



# 三次中央会報

ロータリークラブ

2022-2023 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

事務所 / 広島県三次市十日市東 1-16-19  
 TEL (0824) 64-1245  
 FAX (0824) 64-1245  
 E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp  
 http://mcrc.server-shared.com  
 例会場 / 広島県三次市十日市南 1-10-1  
 三次グランドホテル  
 例会日 / 月曜日 12:30~13:30

- 本日のプログラム 地区研修・協議会報告
- 次回例会日時 2023年5月8日(月) 12:30~
- 次回プログラム なるほど出前講座 / プログラム委員会  
 「はじめよう 健康づくりの第一歩」  
 三次市健康推進課 奥川様

会長 / 沈 勝 義  
 幹事 / 中 島 清 貴

●2022~23年度 国際ロータリーのテーマ



●2022~2023年度 三次中央RCスローガン

ロータリアンであることを  
 強くイメージし、  
 奉仕の喜びを分かち合おう

## ■第1380回例会記録

- 日時.....2023年4月17日(月) 12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「我らの生業」.....全員
- ゲスト紹介  
 三次市教育長 迫田隆範様

■開会挨拶.....沈 会長

## 4月は環境月間

皆さんこんにちは。本日は4月の第3例会で、後半のプログラムは、三次市教育長迫田様のゲスト講演となっております。迫田教育長、後ほどよろしくお願いたします。

国際ロータリーでは毎月月間テーマを定めて、特別な活動に取り組んでいます。今月4月は、活動計画書に母子の健康月間と記入されており、第1例会で私の会長挨拶でも月間テーマは母子の健康と申し上げました。しかし、先週配布された「ロータリーの友」に4月は環境月間と書いてあったので、もしやと思い調べてみたところ、母子の健康月間は7月になっていて、4月は環境月間になっていました。いつそのように変わったのかは定かではありませんが、おそらく近年、国際ロータリーの活動に環境問題が取り上げられるようになってきたからなのでしょう。3月も水と衛生月間として環境にかかわる月間テーマではありますが、それは人間が生きていくうえで最低限必要な生活環境の問題であり、4月の月間テーマである環境は、人類として地球全体に関する環境問題がテーマなのだと思えます。

そういわれてみれば、今月の友誌の特集は戦争による環境破壊が取り上げられ、ウクライナでの凄まじい戦火を生き抜く人々の様子が記録されていました。更に、記事には世界中のロータリアンから寄せられる支援物資が、ウクライナのロータリアンによって管理され、必要なところに支援されていることが書かれていました。



私たちが日本のロータリアンとして、日本全国での募金活動に呼応し、地区事務所を通して、皆さんから寄せられた募金をウクライナに送金したことは記憶に新しいと思いますが、世界中のロータリアンの善意の支援を、また、現地のロータリアンが命がけで支援物資の配布に奔走していることを知り、同じロータリアンとして奉仕の喜びを共有し、分かち合えることを嬉しく、そして誇

らしく思うことができます。

これから私たちに何ができるのかは未知数ですが、今できることは、常に声を出し続け、まさに戦争の苦しみの中で生きている人たちが、今この私たちと同じ時代にいることを忘れてしまわないよう、重大な社会問題として伝え続けることが大事なのではないでしょうか。

以上で会長の挨拶を終わります。

■幹事報告.....中島幹事

- 3月26日の吉舎IMのお礼状を回覧します。
- 本日の会報、会長挨拶の3行目の「阿部会員」の漢字が違っていました。失礼いたしました。
- 次週 4月24日は夜間例会です。19時より当グラウンドホテルです。

■出席報告.....平田委員長

- 第1379回 4月3日

会員数	35名	Make-up	1名
欠席	8名	出席合計	28名
欠席者のうち規定免除	1名	出席率	82.35%

- 第1381回 本日の出席は35名中30名です。

■SAA.....石田SAA

●会員ニコニコBOXご出宝

山縣君 本日は妻の誕生日。きれいな花をありがとうございます。(大)

沈君 迫田先生、本日はよろしくお願ひします。よろしくお願ひします。

井上君 担当例会です。迫田教育長、本日はよろしくお願ひします。

小根森君 迫田教育長様、長い道のりでした。本日は楽しみにしております。

「迫田教育長をお迎えて」

沖君、平田君、信国君、安藤君、杉谷君、和田君、上田君、角谷君、重信君

ニコニコBOX本日出宝額 17,000円

興味深い写真

投稿:安藤 仁



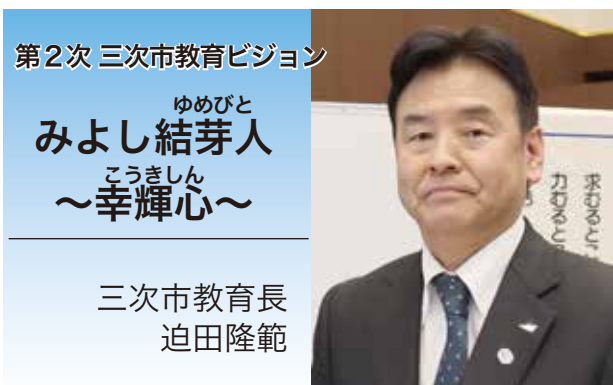
17日の例会前に 駐車場で発見。若葉マーク? 新緑のモジミみたい。和田会員のミントグリーンのお車の後ろ窓に。

グラウンドホテルのチャペル側の入り口内に11月から飾られているシクラメンです。ま〜立派です。総花数200本でしょうか? 上手に育てておられます。拍手です。池田会員さん。



本日のプログラムはゲスト講演です。三次市教育委員長の迫田隆範氏においでいただきました。先程会長も述べておられましたが、2回3回と延び、3度目の正直と言いますか今回の件おいでいただくことができました。迫田教育長は令和3年に就任され丸2年になられます。第2次教育ビジョンをスローガンに掲げられ、その中で感じられたことなど話していただけたらと思っています。

井上幸三プログラム委員長



みなさんこんにちは。迫田隆範です。本日は皆様の貴重な例会の時間にお招きいただきありがとうございます。日頃は様々な教育行政にご協力いただき感謝しております。本日は進めているビジョンとそれに関わる私の思いなどを話させていただきますと思っています。

お手元に資料を2つお配りさせていただいています。その中に教育ビジョンとして、『みよし結芽人～幸輝心』とあります。この『結芽人』とは造語です。一人一人の思い、願いを実現するために他者と結びつけ結実する。『幸輝心』も同じく造語です。どんな年代の市民も輝き続ける力を持つ。と言う意味を込めタイトルといたしました。

現在、6歳から15歳が35歳になる2040～2050年、この三次、あるいは、世界の中心を担う年代を見越して設定しています。様々な課題に主体的に向き合い、貢献し、自らの幸せと共に社会全体の幸せの実現を求める人。それがこの教育ビジョン、スローガンなのです。

子どもたちを取り巻く環境は今後決して楽観できるものではありません。令和27年には社会状況も、一人が一人を背負う時代がやってきます。世界的に見ても環境問題、食糧問題と懸念する状況は色々あります。日本の人口は一億人を割り、世界の人口は百億人を超えるという未来予想もあります。

そんな未来予想の中で今三次市が教育環境においてどのような取り組みをやっているか、また目指

しているかについてのお話をさせていただきます。

子どもたちを取り巻く環境においては、社会総ぐるみで支え合う、コミュニティ・スクールを目指しています。みんながお互い協力し自分ごととしてみんなで幸せに向かって目指そうと言うことです。たとえ失敗してもやることにより、子どもたちに社会は変えられるところだと言うことを実感として持たせ、達成できる目標に取り組むことができると思うのです。小中高生に社会問題と向き合わせ、他者と協力し、住み続けたい『まち三次』の実現に取り組める心豊かで逞しい人になってほしいのです。

学習面では、今求められる学力として、「情報処理能力」「情報編集力」「基礎的人間力」を掲げています。変化の激しい社会を生き抜くため、質の高い丸暗記能力でない質の高い学力を育成することが大切と思っています。

最後にロータリークラブの皆様へ三つお願いがござります。

1. ビジョンの共有 (教育ビジョンの話題性)
2. 中山間地域を創るひとづくりの理解 (学校教育・生涯学習への関心)
3. 小中高校生に社会問題と向き合わせる具体的取り組み

以上の三点にぜひご協力ください。これからも、皆様のご指導ご協力をよろしくお願いいたします。

■謝辞.....沈 会長  
■点鐘.....沈 会長





私が社会に出て初めて勤めたところは、広島市の商工センターにある大手総合食品問屋です。新入社員の同期は2人で、研修を受けたのち各部署に配属されました。その部署は、業務用食品部というところで同期のうち5人が配属され、部長から「数学の好きな人!？」と問われ思わず「はい」と手を挙げるとそのままその部署の事務員をすることになってしまいました。入社当時は寮に入りましたので、寮の先輩が楽しそうに話をする営業職がしたかったのですが、仕方ない、任されたことはやるしかないと心新たに励むことにしました。ところが、毎日伝票をめくって電卓を打ち、コンピューターへの入力、電話がかかると3コール以内にとり、することは山ほどあったのですが、いつまで経っても事務所の空気は好きになれませんでした。

そんなある時、近くのお得意先様から急ぎの注文が入り、あいにく営業マンが配送に出て不在だったため、事務所にいた私が代わりに商品を届けに行くことになりました。やっぱり外の空気はいいなと思いつつお得意先に着くと、笑顔で大きな声で「毎度、お世話になります～」と言って中に入り納品を終えました。お得意先の方も「急に無理言ってごめんね!」と言って下さり、その喜ばれた顔を見てとっても幸せな気分になりました。その後何度か訪問していくうちにそのお得意先からも気に入ってもらい、「あの子、営業に向いているよ」と上司に連絡が入ったみたいで、2年目の人事異動で憧れの営業職に就くことができました。

営業とはいってもドライバーセールスで、朝5時から学校給食の配送、第2便で弁当屋さん、産業給食、スーパーの総菜部門等に納品し、午後から営業を兼ねてレストランなど外食産業のお店を回る日々が続きました。飲食関係は料理人との商談が多く、頑固というかこだわりを持った人ばかりで難しい人も多かったのですが、逆に気に入ってもらうとことん可愛がってくれる人も多かったことを今でも感じています。そうはいっても相手は刃物を持っていますからいつも真剣勝負、値段だけではなく産地や品質、時間等含めて約束は必ず守ることを肝に銘じ、誠意を以って商いをしていきました。

また、大手スーパーを担当したときは厳しいバイヤーがいらっしやって、中々胸中に入り込むことができず、商談も上手くいきませんでした。そこで私が考えたのが、店舗で売り手である女性のパートさん達と仲良くなることでした。今では考えられませんが、忙しくされている店員さんのお手伝いとして唐揚げを揚げたり、惣菜をバックしたりしながら、おばちゃんたちが大好きな話(自分の彼女の話等)をして仲良くさせていただきました。(その時付いたあだ名はおばちゃんキラ) そのうち、店員さんたちから色々なアイデアやライバル会社の動きなど教えていただき、こうしたヒントを基に“世界のコロケフェア”“受験に勝つ(カツ)フェア”当時あまり出回っていなかった“ピザ・グラタンコーナー”の設置等をバイヤーに企画提案し、爆発的ヒットをさせてもらいました。やっぱり売り手とはいっても自分やバイヤーにない女性の発想、主婦の力は凄い!!とつくづく感じるとともに、今でもその気持ちは大事にしています。

こうした食品会社の営業を約4年間続けた後、自分の得意先でもあった総合食品問屋の子会社でもあるレストランに出向となり、副店長としてレストラン経営に携わることになりました。当時は運も良くちょうどバブル期でもあり、異動した直後に200名、300名のパーティーを受けるなど華々しいスタートで始まり、異動1年目からお店の売り上げは前年の2倍を達成し、これから先の「飲食、お酒に携わる仕事」への新たな時代がスタートすることになりました。

